

まちなかふれあい拠点整備検討資料(抜粋版)

本市の持続可能なまちづくりを進めていくにあたり、現在検討を進めている市営プールを本庁舎周辺の「まちなか」に建設する場合に、世代を超えた「ふれあい」の拠点づくりとして必要とされる複合的機能の検討を行うことを目的とする。

1. 市内における「市民交流施設」の現状

本庁舎周辺(まちなか)の位置付け

都市計画マスタープラン ⇒ 「都市機能ゾーン(花畔地区)」

立地適正化計画 ⇒ 「都市機能誘導区域」



都市機能(都市機能施設※)を誘導、または整備することで、新たな市民のふれあいや交流が生まれる拠点づくりが求められるエリア

※都市機能施設

都市の居住環境の向上等のための機能を備えた施設であり、都市再生整備計画による高次施設(地域交流センター、観光交流センター、賑わい・交流創出施設など)や立地適正化計画による誘導施設、市民のコミュニティ形成や交流、生涯学習、居場所、文化芸術、健康医療福祉、子育て、行政サービス等の拠点となる施設

今回「都市機能施設」のうち、主に行政(市)が整備主体となるものを「**市民交流施設**」と定義し、本庁舎周辺の整備について検討を行った。

表 市内の主な「市民交流施設」一覧(厚田区・浜益区を除く)

機能	施設区分	有無 (○有・●無)	名称 (末尾※印:本庁舎周辺エリア内のもの)
行政機能	庁舎	○	石狩市役所 ※
保健福祉機能	保健センター	○	総合保健福祉センターりんくる ※
	高齢者福祉	○	花川北憩いの家(りんくる内) ※
	障がい者	○	横町寿の家
		○	障がい者総合相談支援センター(りんくる内)※
子育て支援機能	児童センター	○	こども未来館あいぽーと ※
			ふれあいの杜こども館
	子育て支援センター	○	地域子育て支援センター えるむの森
			こども発達支援センター(りんくる内)※
			子育てひろば りとるきっず(あいぽーと内) ※
			地域子育て支援センター フレって
			地域子育て支援センター くるみの木ひろば
			地域子育て支援センター もくば
			地域子育て支援センター こあらくらぶ
文化芸術機能	図書館	○	石狩市民図書館 ※
			石狩市民図書館花川南分館
			石狩市民図書館八幡分館
	文化ホール	●	—
会議集会機能	博物館等 ^注	●	—
	公民館	○	石狩市公民館(学び交流センター)
	コミュニティセンター	○	花川北コミュニティセンター
			花川南コミュニティセンター
			八幡コミュニティセンター
	その他会議室	○	(りんくる)交流活動室・会議室・視聴覚室等 ※ (石狩市民プール)多目的ホール
スポーツ健康機能	体育館	○	B&G海洋センター
			サン・ビレッジいしかり
	プール	○	石狩市民プール
			B&Gプール

(注:「いしかり砂丘の風資料館」は博物館等に含まない)

2.「市民交流施設」の整備に関する団体等からの主な要望及び府内意見

施設等名称	施設内容や検討課題など
屋内遊戯施設	市議会において、子どもの屋内遊戯施設の整備検討について質問
文化ホール	NPO法人石狩市文化協会から音響設備・舞台装置を備えた文化ホールの建設要望 石狩商工会議所から大規模な催事を開催可能な文化ホールの建設要望
公民館	石狩市公民館(学び交流センター)は築40年以上経過し、老朽化・バリアフリー対応など多くの課題を抱えている。生涯学習を支える複合的かつ持続可能な社会教育施設(公民館)の整備検討が必要
総合体育館	公益財団法人石狩市スポーツ協会から、総合体育館整備に関する要望が挙げられており、議会でも整備について質問
子ども家庭センター	妊娠婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置
公用車車庫	公用車車庫新設の整備を検討しているが、費用の面等から保留中
防災備蓄倉庫	防災備蓄倉庫新設の整備を検討しているが、費用の面等から保留中
市庁舎・りんくる間の連絡通路	市民、職員等の利便性向上のための連絡通路の整備
交通ターミナル	デマンド交通と路線バス、タクシー及び民間送迎バス等の交通結節点となるターミナル施設の整備

3. 他市における「市民交流施設」の設置状況 (石狩市内にない施設)

(1)文化ホール(劇場・音楽堂等)の設置状況

公益社団法人 全国公立文化施設協会の「劇場・音楽堂等の文化施設一覧」をもとに、道内自治体における文化ホールの設置状況を整理した。

道内179自治体のうち文化ホールがあるのは87自治体、無いのは石狩市を含め92自治体である。
人口が多い自治体ほど文化ホールが整備されている傾向があり、人口10万人以上の自治体では文化ホールが複数個所整備されている。

また、人口3万人以上10万人未満の13自治体では、11自治体に文化ホールがあり、メインホール座席数は600~1,300席となっている。一方で石狩市と滝川市には、現在文化ホールが無い状態である。

表 人口3万人以上10万人未満自治体での文化ホール設置状況

自治体名	人口 (R7.1.1)	文化ホール名称	メインホール 座席数
千歳市	97,355	千歳市民文化センター	1,275
室蘭市	74,855	室蘭市文化センター(他1館)	1,307
岩見沢市	74,204	岩見沢市民会館・文化センター	1,183
恵庭市	70,446	恵庭市民会館	822
石狩市	57,143	—	—
北広島市	56,495	北広島市芸術文化ホール	597
登別市	43,615	登別市民会館	709
北斗市	42,810	北斗市総合文化センター	1,000
音更町	42,683	音更町文化センター	1,070
滝川市	36,515	※老朽化のため令和3年度末に閉館	—
網走市	32,199	網走市民会館(他1館)	957
伊達市	31,208	だて歴史の杜 カルチャーセンター	1,044
稚内市	30,336	稚内総合文化センター	1,293

(2)博物館の設置状況

総務省の「公共施設現況調査」をもとに、道内自治体における市町村立の博物館(博物館・美術館・科学館・歴史博物館)の整備状況を整理した。

道内179自治体のうち博物館があるのは38自治体、無いのは石狩市を含め141自治体である。

人口が多い自治体では博物館が整備されている傾向があり、人口10万人以上の自治体では博物館が整備されているが、人口3万人以上10万人未満の13自治体では、3自治体に博物館があるが、石狩市を含む10自治体では博物館が整備されていない。

(注記:「いしかり砂丘の風資料館」は上記調査の博物館に含まれない)

4. まちなかに整備が求められる機能の検討

(1) 本庁舎周辺の位置付けと求められる機能

本庁舎周辺は、行政機能を中心とし、保健福祉・子育て支援・文化芸術・会議集会・スポーツ健康・商業ビジネスなど多様な都市機能を集約的に配置し、それらの機能を向上することで、新たな市民のふれあいや交流を生み出し、総合計画で掲げている「市が目指すまちの姿(創造・絆・環境)」の実現に向けた中心的なエリアである。

機能集約と機能向上にあたっては、効率的な行政サービスの運営と市民参加のまちづくりを進める観点から、既存施設の有効活用と施設再編、民間活力の導入、計画・運営・活用における積極的な市民参加が求められる。

そこで、本庁舎周辺の機能向上に向けて、以下の3点をポイントとして検討を行った。



◆検討にあたってのポイント

① 既存施設の機能向上・連携強化

本庁舎など既存施設について、個々の施設の機能向上を図るとともに、施設相互の連携を強化し、施設群としての機能を高める。

② 民間・市民の活躍の場づくり

市有地や公共施設を事業者や市民が積極的に活用できるようニーズに即した環境整備や運用改善を図る。

③ 機能を補完する「ふれあい拠点施設」の整備

本庁舎周辺に必要とされる機能を補い、新たな市民のふれあいや交流を生み出す場となる新たな市民交流施設「ふれあい拠点施設」の整備を図る。

(2) 「ふれあい拠点施設」としての整備が求められる機能と検討結果

(1)の本庁舎周辺に求められる機能に対し、市民交流施設の現状とニーズに基づき、機能向上検討内容を整理した。

機能	本庁舎周辺での機能向上検討内容
行政機能	「本庁舎」との連携強化と機能向上を検討する。 車庫や防災倉庫など、必要な付属施設の充実を検討する。 交通ターミナルについては、その設置場所も含めて引き続き検討する。
保健福祉機能	「総合保健福祉センターリんくる」との連携強化と機能向上を検討する。
子育て支援機能	「こども未来館あいぽーと」との連携強化と機能向上を検討する。
文化芸術機能	「石狩市民図書館」との連携強化と機能向上を検討する。 現在有していない文化ホール機能については、市民のふれあいや交流を生み出す場として期待されることから整備を検討する。 公民館機能については、必要な機能を整理し、既存施設との統合も含め検討する。
会議集会機能	「石狩市民プール」の2階多目的室の機能を代替しうる会議室等の設置を検討する。
スポーツ健康機能	「石狩市民プール」と「B&Gプール」の更新統合に伴い、本庁舎周辺での「市営プール」の整備を引き続き検討する。 「総合体育館」は広大な敷地を必要とするため、本庁舎周辺での整備は想定しない。
商業ビジネス機能	エリア内市有地における民間活力の導入も含めた土地利用を検討する。

◆整備が求められる機能の検討結果

文化芸術機能(文化ホール機能)については、新たな市民のふれあいや交流を生み出す拠点として期待され、また、控室などの付帯諸室を、会議集会機能にも使用できる「会議室等」としての活用を検討することで、より効果的な整備が期待される。

よって、まちなか(本庁舎周辺)における、新たな市民のふれあいや交流を生み出す「ふれあい拠点施設」として整備が求められる機能は「文化芸術機能(文化ホール機能)」であり、「文化ホール」を軸とした整備の検討を進めていくこととする。